

# プラスチック製容器包装 分別収集計画

春日井市

## はじめに

1980年代後半から1990年代前半にかけての経済発展に伴う大量生産及び大量消費は、国民の生活様式の多様化や利便性の向上に貢献した一方、ごみ排出量の増加による環境負荷の増大や最終処分場のひっ迫等、深刻な社会問題を発生させた。特に家庭ごみの中において、容積比で約6割、重量比で約2割を占めている容器包装廃棄物の処理が緊急の課題となってきている。

こうした背景の下で、平成7年12月に「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」が施行され、容器包装廃棄物の分別収集及び再商品化の促進等により、ごみの減量と再生資源の利用を図ることとされた。さらに、平成18年の法改正により、排出抑制を促進するとともに、質の高い分別収集の実施と、市町村の費用負担軽減に関する仕組みが追加された。

本市においては、一般廃棄物処理計画及び分別収集計画に基づき、資源分別収集を行っているが、この度、市民負担や費用対効果を十分考慮した上で、現在燃やせないごみとして収集しているプラスチック製容器包装の取扱いについて見直しを図り、容器包装廃棄物のなお一層の排出抑制及び再生利用を推進するため、本計画を策定する。

—— 目 次 ——

1	策定の目的	1
2	プラ容器分別収集の対象、対象外の区分	2
3	排出方法及び収集方法	3
4	中間処理方法（選別・梱包・保管）	3
5	効果・費用	3
6	基本的方向	4
7	スケジュール	4
8	排出量の見込み	5

## 1 策定の目的

現在、春日井市の資源物は、「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」(以下「容リ法」という。)に基づき、平成10年から飲料缶、ガラスびん、ペットボトル、古紙類、牛乳パック類及び古着を対象品目として分別収集している。その後、雑がみの品目追加、資源物回収の祝休日の実施、そして指定ごみ袋制度の導入など、ごみ減量、分別の徹底、リサイクル意識の高揚に取り組んできている。

こうした取組により、家庭から排出されるごみの量は年々減少傾向にあるが、県内各市の状況と比較するとまだ多い状況にあり、更なる排出抑制やリサイクルが求められている。

また、国における容器包装廃棄物の排出抑制を推進するための容リ法の改正や環境問題に対する意識の高まりなど社会経済環境の変化に伴い、容リ法に基づく再商品化すべき対象品目であるプラスチック製容器包装(以下「プラ容器」という。)の分別収集を行うかどうかが課題となっている。

さらに、本市において平成19年度に策定した分別収集計画では、容器包装廃棄物のうち、プラ容器の分別収集を平成22年度から行うこととしている。

このような状況で、平成20年1月に春日井市廃棄物減量等推進審議会に対し、プラ容器の取扱いについて諮問したところ、「新たな市民負担及び処理経費負担の発生という課題があるが、容リ法及び地球温暖化対策推進法などの法的要求、リサイクル技術の向上、市民意識の向上などにより分別収集・処理の必要性が高まっていることや、ごみ減量及び処理施設の経費削減・延命の効果が得られることから総合的に検討し議論した結果、プラ容器を分別収集するに適切な時期であると判断する。」との答申を平成21年5月に受けた。

以上のことから、プラ容器分別収集を実施するにあたり、対象物、排出方法、収集方法等の課題について、市民負担及び処理経費の軽減を考慮した具体的な手法を明らかにし、円滑に実施するため、本計画を策定する。

## 2 プラ容器分別収集の対象、対象外の区分

市民にとって対象物をわかりやすくするために、次のとおりとする

### (1) 対象となるもの

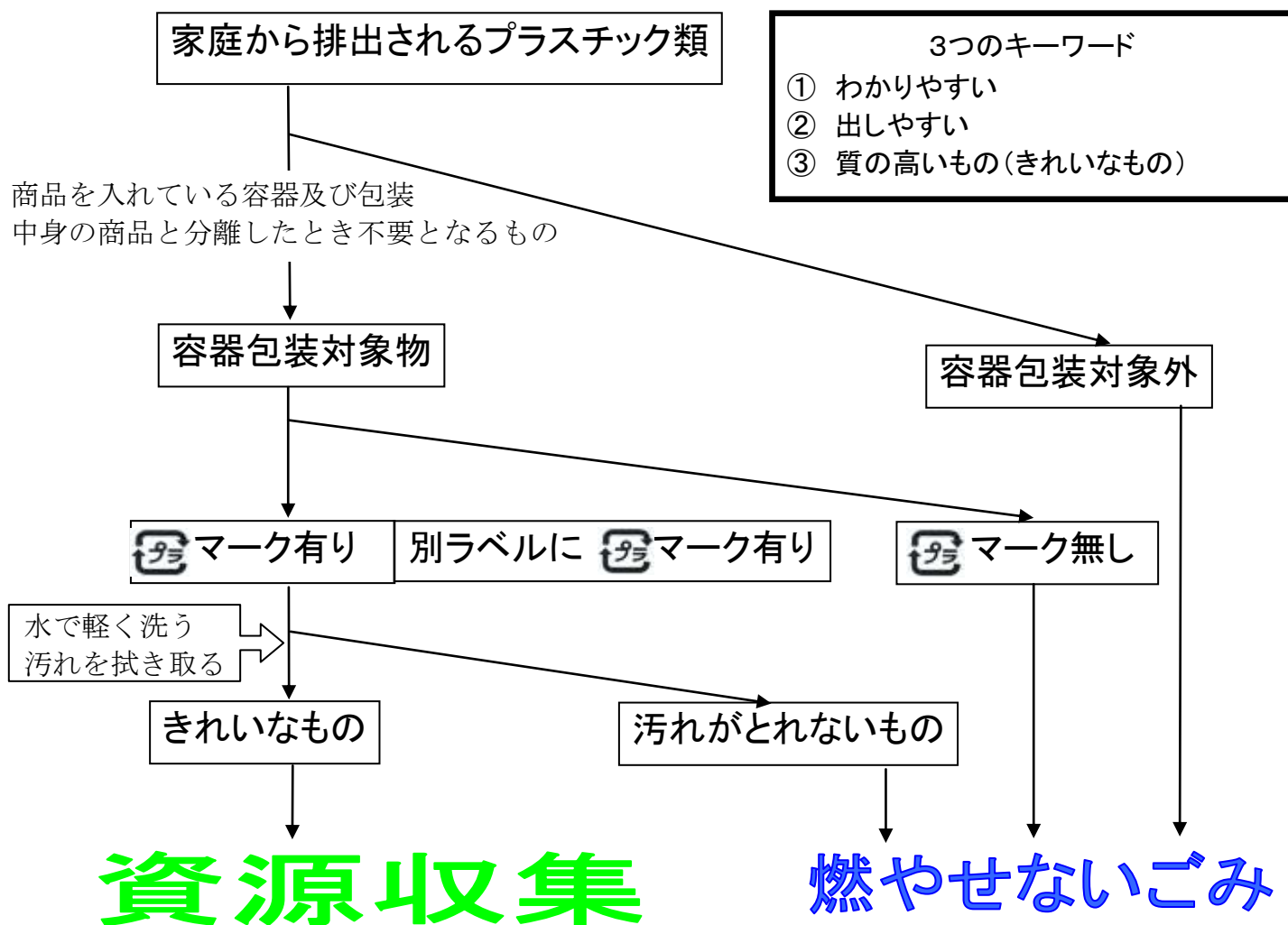
ア プラ容器とは中身を使い切ったり、取り出したときに不要となるプラスチック製の容器や包装

イ プラ容器に該当するものには、プラスチックマークの表示がある

### (2) 対象外となるもの

ア プラスチックマークの表示があるが、汚れの取れないプラ容器(チューブ類)

イ プラスチックマークの表示がある在宅医療品



- ① 食用油、洗剤、シャンプーなどのボトル類
- ② カップめん、プリン、卵、豆腐などのカップ・パック類
- ③ お惣菜、刺身、冷凍食品、弁当などのトレイ類
- ④ 菓子袋、レジ袋、包装用フィルムなどの袋・ラップ類
- ⑤ その他(果物のネット、発砲スチロール、ボトルのキャップなど)

### 3 排出方法及び収集方法

#### (1) 排出方法

- ア 回数 週1回（燃やせないごみと同日）
- イ 排出 透明・半透明の袋出し
- ウ 場所 ごみステーションへ排出
- エ 時間 当日の朝8時まで

#### (2) 収集方法

外部委託により行う

- ア 車両 パッカー車 2台（燃やせないごみとプラ容器をそれぞれ収集）
- イ 収集 月曜日から金曜日で、指定されたごみステーションへ排出された燃やせないごみ、プラ容器
- ウ 搬入 燃やせないごみはクリーンセンター、プラ容器は中間処理施設

### 4 中間処理方法（選別・梱包・保管）

外部委託により行う

- (1) 処理施設において、収集したプラ容器から、異物の選別をする
- (2) 選別したプラ容器の圧縮梱包をする
- (3) 梱包したプラ容器を施設に保管し、再商品化事業者へ引き渡しをする

### 5 効果・経費

#### (1) 分別収集の効果（市内全域で実施した場合）

- ア プラ容器の再商品化ができる
- イ ごみの減量ができる
  - (ア) 燃やせないごみが約3,000t削減できる
  - (イ) ごみの分別収集により、市民のごみ処理に対する意識が向上され、さらなるごみの減量に繋がる
- ウ 二酸化炭素排出量が約6,800t削減できる
  - (ア) 春日井市役所地球温暖化対策実行計画に基づく地方自治体の温室効果ガスの排出抑制に寄与できる
  - (イ) 石油等の化石燃料が節約できる
- エ 廃棄物処理施設の延命ができる
- オ 法令の趣旨に沿った廃棄物処理ができる

#### (2) 分別収集に係る経費と削減額比較（市内全域で実施した場合）

項目	経費	削減額	差額
経済比較	240,200 千円	49,540 千円	+190,660 千円

## 6 基本的方向

プラ容器分別収集の収集量、排出状況等を検証するため、始めはモデル地区において実施し、検証結果により計画の見直しを行う

### (1) モデル地区の指定 (26,054人)

月曜日：石尾台 火曜日：中央台 水曜日：東野町

木曜日：小野町 金曜日：如意申町

市内全域 (307,052人) に対する、モデル地区の人口割合は、8.5%

### (2) 啓発の充実

町内会向けの説明会の開催、ごみステーションにおける掲示、資源・ごみ出し便利帳の改訂、広報等

### (3) 検証内容

燃やせないごみ及びプラ容器の収集量、袋の数、排出状況等について検証し、収集回数、収集方法等について検討する

### (4) 実施地域の拡大

モデル地区においての検証後、市内全域に拡大

## 7 スケジュール

### (1) モデル地区における実施

ア 平成22年7月から9月まで

説明会、広報等による啓発

燃やせないごみの収集量、収集状況等を検証

イ 平成22年9月

ごみステーションの看板設置

ウ 平成22年10月から平成23年3月まで

プラ容器分別収集実施、プラ容器及び燃やせないごみの収集量、収集状況等  
を検証

### (2) 市内全域への拡大 (モデル地区は継続して実施)

ア 平成23年4月から平成24年3月まで

説明会、広報等による啓発

イ 平成24年4月から

市内全域において実施

## 8 排出量の見込み

### (1) 燃やせないごみの組成分析（サンプル調査）

プラ容器が21.6%（重量比）含まれていた

### (2) 他市の状況

愛知県が行った、平成19年度廃棄物処理事業実態調査に基づく、人口が本市と同規模程度の近隣市におけるプラ容器の資源化量は、次のとおりであった

市名	総人口 (平成20年4月1日)	プラ容器の資源化量 (平成19年度)
春日井市	304,925人	—
A市	420,816人	2,223トン
B市	376,220人	2,739トン
C市	383,308人	(未実施)
D市	153,495人	2,319トン

### (3) 排出量（見込み）の算定

(1)(2)を踏まえて、次のように算定した

$$\begin{aligned}
 &15,374 \text{ (平成20年度 家庭から出る燃やせないごみの量 ※粗大ごみ等除く)} \\
 &\times 21.6\% \text{ \{燃やせないごみに含まれるプラ容器の組成比率 (重量比)\}} \\
 &= 3,321 \text{ トン} \\
 &3,321 \times 0.9 \text{ (不適物10\%を除く)} \\
 &= 2,989 \text{ トン} \\
 &2,989 \times 0.085 \text{ (モデル地区の人口割)} \\
 &= 254 \text{ トン} \\
 &254 \times 0.5 \text{ (実施期間:平成22年度 半年)} \\
 &= 127 \text{ トン} \\
 &254 \times 1 \text{ (実施期間:平成23年度 1年)} \\
 &= 254 \text{ トン}
 \end{aligned}$$

(数値は、小数点以下第1位を四捨五入)